

odai

magazine

vol.11



宇宙のお話

おりい かえで

もうすぐ、太陽が二つになるかもしれない。

これはちゃんと科学的に証明されている可能性だ。

皆さんはオリオン座をご存知だろうか。そう、砂時計のような、台形2つを上辺で合わせたみたいな形をした星座だ。その星座を砂時計として見上げたとき、左上角にある星、ペテルギウスが、今にも爆発しそうなのである。

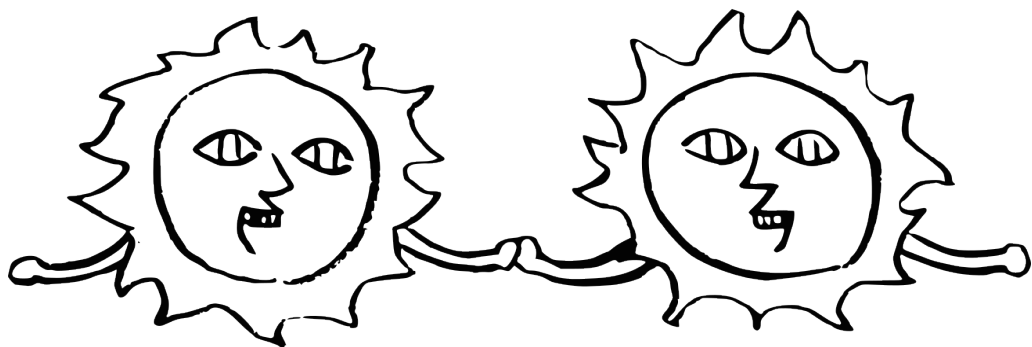
太陽のように自ら光を放っている星を、恒星という。その恒星という星は、死ぬ時に超新星爆発という爆発を起こす。

なんかめっちゃカッコイイ名前の死にからだ。

皆さんご存知だろうか。実は自分で光っている星たちは、水素の核反応で光を放っている。その反応で出た燃えカスが星の中にどんどん溜まっていく。どんどんどんどん溜まる。もう、溜まりすぎて星が風船のようにはつつんぱつつんになるまで溜まる。そして「もうこれ以上膨らまないよー」というところで、ちゅどーん。超新星爆発を起こすのだ。

そう。つまり、今まさにペテルギウスは「もうこれ以上膨らまないよー！」状態なのである。

ペテルギウスは目視できるほど近くにある星、したがってもし超新星爆発を起こした場合、地球の空にとつもない光を放つのである。それは、昼間は太陽が2つに、夜は月が



2つあるように見えるほどだという。

なんて神秘的だろう。死ぬまでにぜひ見てみたい現象である。

ただ、宇宙科学での「もうすぐ」は、約一万年以内なので、もしかしたら生きている間には拝めないかもしれない…。

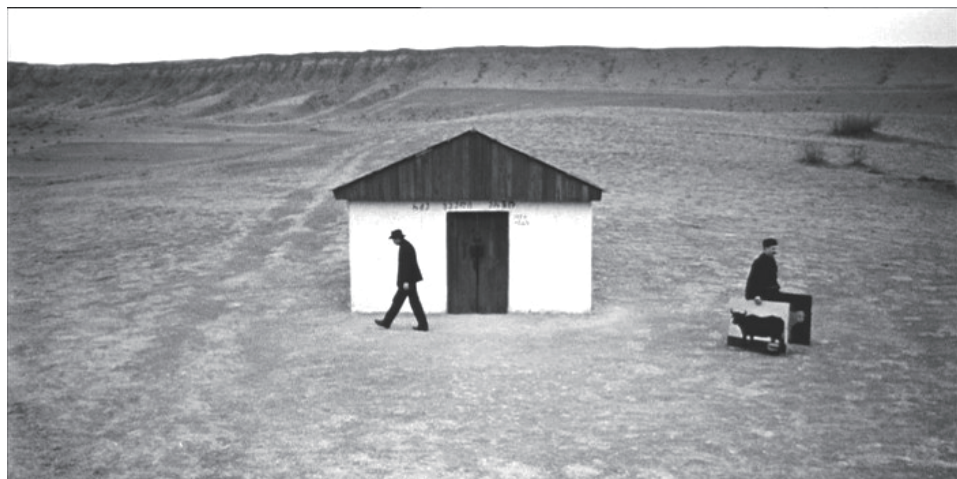
ちなみに、ペテルギウスは地球から約640光年ほど離れているので、皆さんが見ているオリオン座の角の星は、約640年前の姿なのです。

不思議ですね。

よかったら、ペテルギウスが死ぬ前に、ぜひ夜空を見上げてみてあげてください。

では、よい夜を。

光年＝光が一年かけて進む距離



えいがのこと

放浪の画家ピロスマニ

(原題 Pirosmanni)

'69
ソ連

監督 ゲオルギー・シエンゲラーヤ

最近 Amazon プライム・ビデオなどで映画を見ることが多くなっていますが、ここではなるべく映画館に足を運んだことを書きたいと思います。

前回、岩波ホールに行ってはちみつ農家の——という話が少しでたんですが、その映画を見た時の予告編ですと気になっていたものです。最近原付を購入し、やはり移動してもさして疲れないという点で活用したいんですが、なかなか駐輪できる場所を探すのに苦労します。月極めのバイク駐輪場は水道橋近辺にもいくつかありますが、時間で停められるところはひとつ発見しましたが1時間に200円も

とられます。バイク駐輪は最初の1、2時間は無料とかあるところはあるのですが、このあたりはこまったものです。ギンレイシネマクラブに入ろうとしているのですが、飯田橋近辺の駐輪場を探しておかないといけません。

映画はグルジアの画家、ニコ・ピロスマニの反省を描いたもので塞翁が馬のようなそうでないような内容です。人生いろいろ。写真のようにどのシーンも画になっていて見えて飽きません。東欧絵画の配色が好きというだけでも楽しめる映画なのではないかと思えます。



山のこゝろ

上がって下がる道

長谷川 至洋

峠^{とうげ}。かつてはたくさんの人が峠を越えてあつちの村からこつちの村へ、移動したのであろう。歩いて山を越すことが日常ではなくなった現在、現役の峠は車道のある峠に集約された。一方で、ひっそりと地蔵や祠が佇む昔のままの山道の峠があちこちに残る。私はそういう峠が好きだ。峠は、標高の低い山の冬枯れの時期がよい。枯葉の海に明るい光が日だまりになつた峠にひとりであづくまる。生活のためだつたものが、その用途を終え、静かな時間だけが流れている。この安らぎは何なのだろうかと考える。廃墟にも同じ安らぎを覚える。打ち捨てられたもの。取り残されたもの。時が止まつたようであり、けれども時は止まらない。それは用無しの時間。わたしもまた用無しの存在となつて、過去だけがぬくもっているひそやかな峠に癒やされるのであろうか。終わつた後には、必ず静けさが残るもの。人は死に、地蔵は残る。ただそれだけであり、どこにも最終的な問題はない。そんな希望の灯が、現在を支えているのだとすれば、なんと優しいことだろう。すべての昔の人に感謝したいような気持ちになる。西日が峠をオレンジに染める。そろそろ私は下がらねばならない。

128段の階段の歌

6段目

長谷川 至洋

僕のくわえたタバコは鉛に変わり、何味だろうと口の中で転がしている間に消えてしまった。そのことが僕に時間の経過について何か気づかせてくれそうになったのだけど、信号が点滅したとたんにそれもまた逃してしまつたんだ。僕は仕方なく眠いなと思ひながら横断歩道を渡つた。

ある日の夢

長谷川 至洋

休みの日にあまり行かない土地に散歩に行つた。入り組んだ駅の仕組みをするり抜けると少しサバークな感じの住宅地を歩く。程なくして、テントに人の列ができているのを見かけ、並んでいた。並んでみると、それが体育祭か何かでおそらく高校の催事だということに気がついた。列に並んであと少しというところ、右後ろにいる男子生徒がリュックに手を伸ばして財布を取ろうとしている気配を感じた。私はその瞬間を待ち、しっかりとその手が財布に触れるのを認めてから男の手をむんずと掴み、持ち上げた。

「あなたのとこの生徒ですよ。人の財布を盗ろうとしてましたけど。」

と、その手を掴んだまま向こうにいた教師らしき男に報告する。

「おい、そういうことするとこうなるんだよ。」

と生徒を叱ると、なぜか一緒に飯でも食いに行こうということになり、そのあたりの洒落たカフェに入った。ものすごく天井が高く、壁はコンクリートで雰囲気の良い店だったが、この環境で冷房が十分効いていることに驚いた。

一行文学の世界

これは新しい試みです。

俳句でも歌でも詩でもない、一行の言葉。

それはとある架空の長編小説の中の一行だとします。

たつた一行が余韻を残し、波となり、あらぬ方へとつかの間イメージを広げたら素敵なことです。

今日の一行

テーブルの上の冷凍みかんが溶けていく様を、タカシは静かな気持ちでじつと見続けていた。



小台のこと

五色桜というのを聞いたことがありますか？

江北橋のたもとのあたりに少しばかり桜があります。

その横を走る高速道路の橋は五色桜大橋と名付けられています。

1885年千住大橋が流される程の大型台風が関東地方を襲いました。

翌年、江北村村長の清水謙吾氏は、堤防修復工事と共に桜の植樹を提案し、カンパを募って3225本78品種の里桜（山桜を品種改良した桜の総称）の苗木が植栽されました。川口との県境から西新井村に掛けての5・9kmの両岸でした。

1912年、荒川の「五色桜」の苗木3000本が横浜港からワシントンに輸送され、ボトマック河畔に植樹されるほど有名な桜処でした。

しかし、王子の化学工場の公害で木は被害を受け桜は減り、その後戦争が始まります。終戦後、資材不足のため、五色桜も薪となり姿を消しました。

今も少し桜が植えられていますが、富士山も見えることから、たいそう賑やかな花見スポットだったように思われます。

当時の姿を当時になぞらえてクラウドファンディングで植樹できたら素敵な気がしました。

エースの卒業

中村 安伸

モーニング娘。'15のエースであった鞘師里保の卒業が10月29日のブログにて発表された。もちろん衝撃を受けはしたが、それほど意外という気持ちはなく、比較的冷静に受け入れることができた。そのとき思い浮かべたのが司馬遼太郎の『花神』の冒頭部分である。「歴史が彼を必要としたとき忽然と現れ、その使命が終わると大急ぎで去った。」これは明治維新の元勳、大村益次郎について書かれたものであるが、モーニング娘。というグループの歴史において、必要とされたタイミンで現れ、その役割を十分に果たして去っていく鞘師の振る舞いが、一人で淡々と大改革を成し遂げた大村の姿に重なるような気がした。そして、このタイミンでグループを去ること自体が、彼女が果たすべき最後の役割なのだろう、と思ったのだった。

歌やダンスの能力、容姿やキャラクターを活かし、ファンを楽しませることこそが、彼女たちアイドルの使命であるとされている。それとは別に——と言つても完全に分けることはできないが、どちらかというと舞台裏の部分、メンバー個人の成長や、メンバー間の人間関係なども、彼女たちの提供するコンテンツとして重要なものになっている。

1990年代の末頃、テレビ番組を通して舞台裏を積極的に露出することにより、大きな人気を博したのが初期のモーニング娘。であり、そのときから紡がれはじめた物語は、メンバーがすべて入れ替わった今も続いている。

そして、2011年の1月2日に加入し、昨年12月31日に卒業するまでの5年間、モーニング娘。という物語の中心に立ち続けていたのは、間違いなく鞘師里保であった。

12月29日に発売されたモーニング娘。'15のトリプルA面シングルは、通算60枚目にして、鞘師の卒業を記念するものである。一曲めの「冷たい風と片思い」は、女性の微妙な心情を繊細に描いた歌詞と、ミディアムテンポのバラードという曲調が、モーニング娘。初期の名曲「Memory 青春の光」を思わせるという意見もある。

「Memory 青春の光」はモーニング娘。初の卒業メンバーとなった福田明日香のラストシングルであり、そのカップリング曲である「Never Forget」は、その後も多くのメンバーの卒業にあたって歌いつがれた定番曲となっている。最新シングルの二曲め「Endless Sky」は、その「Never Forget」にとって代わるような、卒業をイメージさせる曲である。

この2曲の歌詞における「涙」の扱われ方は興味深い。「ずっとそばにいたいけど、仕方ないのね、ああ泣き出しそう」(「Never Forget」)このフレーズは、泣き出しそうな自分を客観的に見ていると読むことができる。一方「泣くわけないでしょ泣くはずがない、自分で選んだ未来だから。けど、悔しいな、涙止まらない。」

（「Endless Sky」）こちらは、泣くことを抑える意図が明確ながら、やはり涙が出てしまうという。共通して、本人の意図とは無関係に流れてしまう涙こそが本物であり、感動的なのだという作詞者つくく氏の思考を読み取ることができるだろう。

1期、2期メンバー8人から最初に卒業した福田明日香は、メンバーとファンに深い喪失感を与えた。そして、残されたメンバーがその後の危機的状況を乗り越えたことが、のちの大ブレイクにつながったといえる。

鞘師の同期である9期メンバーは、すでに5人の先輩たちを見送ってきたが、今回の鞘師の卒業は、残されるメンバーたちにとってはじめての同世代の卒業であり、初期メンバーにとつての福田の卒業に近い影響を与えるだろう。そして、歌とダンスの中心であり、グループの象徴的存在でもあったエースの卒業は、現実的にグループの危機である。これまで無意識のうちに鞘師に依存してきた部分のあったメンバーたちが、危機感によって大きく成長できるのであれば、先陣を切って卒業することこそが鞘師の最後を果たすべき役割であると言える。

思えば鞘師は、この5年間、それ以前のモーニング娘。において何人かのエースメンバー達が演じてきた役割を一人で演じてきたのかもしれない。デビューしてすぐに物語の主役の座についた存在感の後藤真希を、ベビーフエイスと安定した人気でグループの象徴となった点は安倍なつみを、また、ステージ上で女王のように視線を一身に集めた点は高橋愛を思わせた。

そして、これまでのエースの誰もが持たず、鞘師だけが持つているものが、突出したダンスの能力である。

昨年亡くなった歌舞伎役者坂東三津五郎の踊りには、見入っているうちに自らの幻の手足が動きはじめるかのような独特の浮遊感があった。限られたダンサーしか持たない、人の快樂中枢を直接刺激してくるようなダンスの能力、その片鱗を鞘師は確かに見せることがあった。

卒業後は海外でダンスを学びたい意向であるという。数年後留学を終えて戻ってきたとき、ステージ上でさらに輝きを増した彼女の姿を見ることができるとは思えない。

足立区小台とはとくに関わりのない一月の俳句

チウと泣く嫁が君とか君が嫁とか

「嫁が君」は新年の季語。鼠を指すいわゆる忌み言葉である。鼠はもちろん良いイメージばかりの動物ではないが、正月に姿を現した鼠に対しては、その愛らしさだけを感じとって、他の嫌なことはなるべく思い出さずにいたいものだ。そのために特別な呼び方が用意されたのだろう。「嫁が君」の愛らしさはひるがえつては嫁である君への思慕を呼び起こさないではない。「チウ」は鼠のかそけき鳴き声であるとともに接吻の擬音でもあり、年が明けて初めての性交のことは姫始めと呼ぶ、これももちろん新年の季語である。

おしえて！



おだいじん

おつすー、おいらおだいじん。アケオメ〜
はい、早いもので2016年一回目。今
回も質問があったぞよー！

ということで早速質問をみてみよう。足立
区にお住いのTさんからじゃ。

「宛名を書き損じた年賀状、修正テープで
直して投函するのは、どの程度失礼なので
しょうか？私は、書き損じたハガキは修正
テープを使わずに新たに書き直しています。
同僚からの年賀状に、修正テープを利用した
ものがあり、来年からは修正テープを使うか
迷っています。」

ふむふむ、これはなかなか困った質問じゃ。
年賀状の書き損じに修正テープというのは
おいら個人の感覚では失礼に当たらないぞ
よ。なんでかって言うのと修正テープは修正す
る為にあるからじゃ。

修正しちゃいけないんだったら存在する意
味がないぞよ。このコーナーにしても質問が

o /

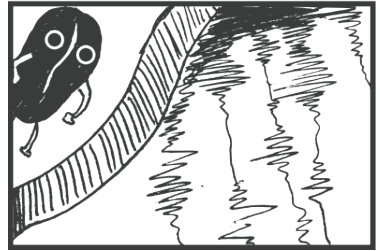
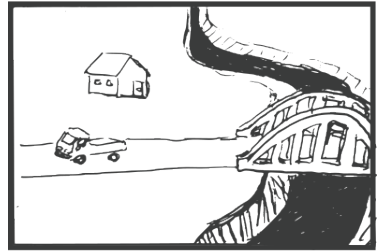
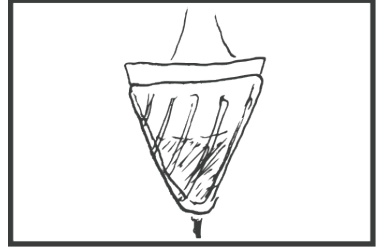
来なかったら存在する意味が…

しかし、この修正という言葉がどこまでを
指すかでおいらの意見も変わるぞよ。例えば、
神田さんに宛ててたところ、神田まで書いて
示すへんを衣へんにしてしまったのに気づい
て部首を直すのはオーケーじゃ。がしかし、
「あ、神田さん喪中だ。じゃあ山田さんにしー
ちやお。」といって神を隠してその上に山を
置いたらものコンセプトとはだいぶ違っ
ちゃうのでダメじゃ。

修正なのか、改竄なのか。そこが肝心ぞ
よ！修正テープは改竄テープじゃない！

とは言え、一般的には新年最初のご挨拶だ
から修正しない方がいいに決まっとる。じゃ
ええじゃ。言葉遣いをフィックスするのにま
だしばらくかかりそうじゃ。

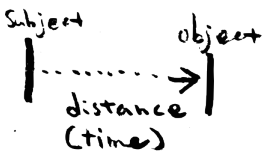
それにしても気持ちのいい回答ができたぞ
よ。それじゃあまた次回。ぞよぞよ〜



それゆけ！なんでも計算隊 VOL・3

だね。わかったようなわからないような、不思議な計算の散歩道だよ。

やあ、おなじみのジャック・マキだよ。今日はなにを計算しようかなんて考えていたら時間がなくなってしまったよ。ああもうあと1分しかない、みたいな感じだね。1分はつまり60秒、ということは……！そこで私は思ったんだよ。空間が原子でできているとすると、時間を構成する最小単位は何なのかと。1秒、0・1秒、0・01秒、とどんどん時間を区切っていくとどこへ行き着くのだろうかよね。どこまでいっても0にならない時間。まさに私たちは永遠の中を生きているの



荒川喫茶瞥々

明けましておめでとうございます。2016年もブリュッケとオダイマガジンをよろしくお願い申し上げます。

さて、荒川区の喫茶店は滅多に紹介しない本コラムですが、今回はもはや東京ですら有りません。一番近い川は、たぶん鴨川。京都の喫茶店を紹介いたします。場所は盛り場、四条河原の路地です。一人くらいしか通れない狭い階段を降りて行くと、喫茶店の入り口があります。この言葉はあんまり好きではありませんが、隠れ家的というのでしょうか、20席もない小さな喫茶店です。内装は落ち着きがあり、かなりハイセンス。花弁を象ったアールヌーヴォー風の天井灯や植物文様

の壁紙が、贅沢な雰囲気醸し出しています。特に気に入ったのが、カウンターの佇まいです。5席ほどしかありませんが、回転椅子のデザインや配置が絶妙でありました。オーダーはホットコーヒーとバタートースト。バタートーストというのは、裏返しに食べる、つまりバターが塗られている側を下にすると、パンが上顎に引っ付いてあまりいい気持ちがない、ということにこの日気がきました。

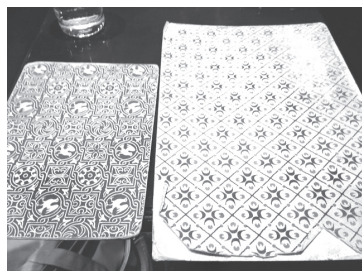
◆オーダー

ホットコーヒー 400円
バタートースト 200円

◆店舗データ

御多福珈琲

京都市下京区寺町四条下ル貞安前之町609





NIGHTMARE PICTURES

—

自画像／サミュエル・ホーホストラーテン

—

ホーホストラーテンは17世紀に活躍したオランダの画家です。フランドル派らしい精緻な静物画などが彼の作品として残っています。この自画像はレンブラントの下で修行していた頃のものでしょうか、そっとするほどのメランコリアが濃厚に漂う画面の中、赤い帽子だけが、最後の灯火のように顔の裏に残ります。

店主の手記

また、新しい年となりました。年末年始の休みというのはこたつに入ってお笑い特番を見ながらみかんを食べて、年が明けたら土手に行って風を揚げるというのが理想です。そんな理想的な冬休みを過ごしました。本当は映画の方の釣りバカ日誌を全部みようとして12月頭くらいから計画していましたがひとつも見ず失敗に終わりました。多分失敗するなめというイメージも出来上がっていたので計画的失敗なのかもしれません。映画といえば、一杯のコーヒーができるまでのドキュメンタリー映画が昨年12月から上映されています。コーヒー屋なので一応お知らせしておきます。

店は3年目に入りました。これまでいろいろと催しを企画してきましたが、今年からは少しあまり他にないようなことを意識したく、勉強的な要素のある催しを増やしていけたらと思っています。

最近の固定の催しを設けました。毎週水曜の夜は希望者が来たらフランス語教えます。第3金曜日はあらくれ句会です。是非、気にしておいてください。2月は橋のピアノをはじめ音楽イベントいくつかあります。その中でもちよっと今までと趣向が違うものとして現代美術

家によるチャゲアスを熱く語る企画です。この辺りも要チェックしてください。

店の情報をいち早く知りたい場合は、Twitterでのフォローをお願いします。

あと、今年は何かのイベントでコーヒー出しにいろいろなところに顔出せたらと思っています。勝手に声がかかるなんてこともそうないと思うので営業しますが、そういう営業で店を休むこともあるかもしれないので宜しくお願いします。また、出店頼まれれば遠くてもなるべく行きますのでお声がけいただけると嬉しいです。

割引サービスも始めます。キッズドリンク200円引き、アンダー18ドリンク100円引き、店内利用で豆購入だと500円／100グラム（通常600円）、5個貯まると100円引きスタンプ制度始めたく、一度の来店で1ポイントです。

今年もどうぞよろしくおねがいします。

